

令和6年度第4回
聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

第3期総合戦略の構成について

- (1) 体系図
- (2) 数値目標と施策構成
 - ・ 基本目標1:しごとづくり
 - ・ 基本目標2:結婚・出産・子育て
 - ・ 基本目標3:まちづくり

聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議事務局

(1) 体系図

【第2期】

聖籠町人口ビジョン2020
 2060年
 人口 11,850人

人口減少抑制
 地域活性化
 人口ビジョン

「生まれて良かった住んで良かった聖籠町」
 (聖籠町総合計画)

地域
 ビジョン

基本
 目標1
 しごとづくり
 ～地域資源を活かした魅力ある
 産業を形成する～

基本
 目標2
 結婚・出産・子育て
 ～結婚・出産・子育ての
 希望をかなえる～

基本
 目標3
 まちづくり
 ～住み続けたいまちを
 かたちづくる～

目標・
 基本的方向
 数値目標

【第3期(案)】

聖籠町人口ビジョン2025
 2070年
 人口 10,610人

町民一人ひとりの暮らしの充実感を創出し、
 幸福度(満足度)を高めることで、
 「生まれて良かった住んで良かった聖籠町」
 の実現を目指す。

基本
 目標1
 しごとづくり
 ～地域資源を活かした魅力ある
 産業を形成する～

基本
 目標2
 結婚・出産・子育て
 ～結婚・出産・子育ての
 希望をかなえる～

基本
 目標3
 まちづくり
 ～住み続けたいまちを
 かたちづくる～

【名称】
 第3期聖籠町まち・ひと・
 しごと創生総合戦略
 【計画期間】
 2025年度～2030年度
 (6カ年)

人口関連指標※は人口ビ
 ジョンと一体的に管理し、
 毎年度実績を整理
 ※総人口、外国人人口、自然・社会動態、
 合計特殊出生率など

※ 階層は総合戦略作成の手引き(国)による。

Point



- ✓ 地域幸福度(Well-Being) 指標は中間・最終の効果検証に活用
- ✓ 課題解決の手段として各施策においてデジタル利活用を検討

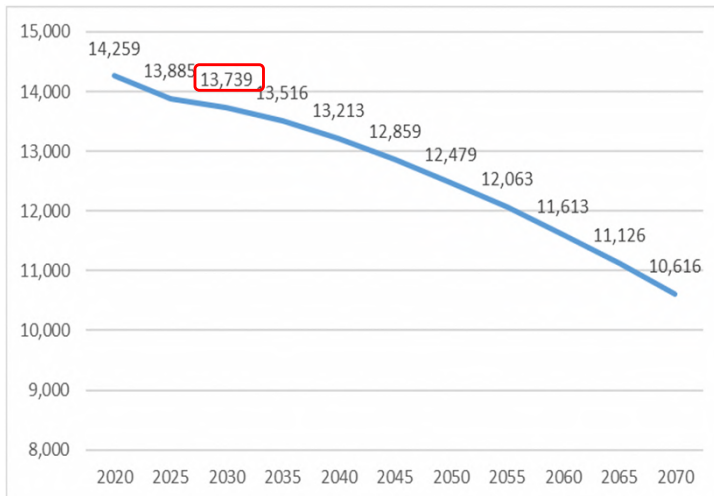
【参考】2030年時点の目標人口(人口ビジョン2025)

【人口動態の参考指標】 人口ビジョン2025(社人研推計準拠)における推計値

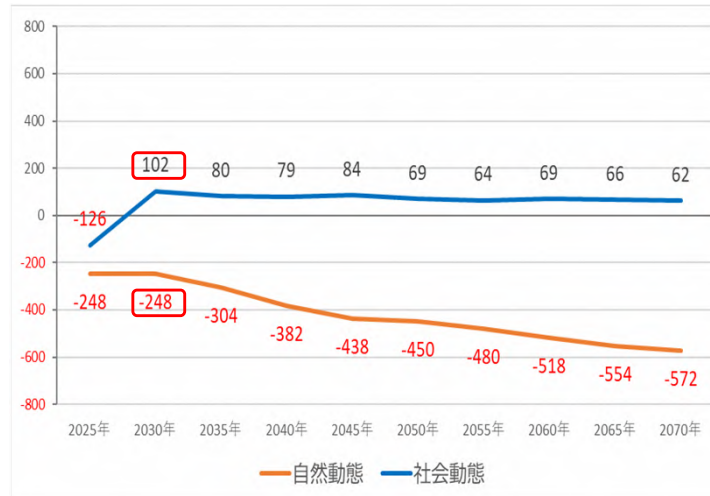
	2020(実績)	2025	2030
総人口	14,259	13,885	13,739
うち外国人	277	(実績管理)	
人口動態(自然+社会)※	-116	-374	-146
うち自然動態	-76	-248	-248
うち社会動態	-40	-126	102
【参考】合計特殊出生率(5年平均)	1.87	1.71	1.76

※ 人口動態は5年間隔での人口増減を表している。(各年の数値は÷5にて算出可能)

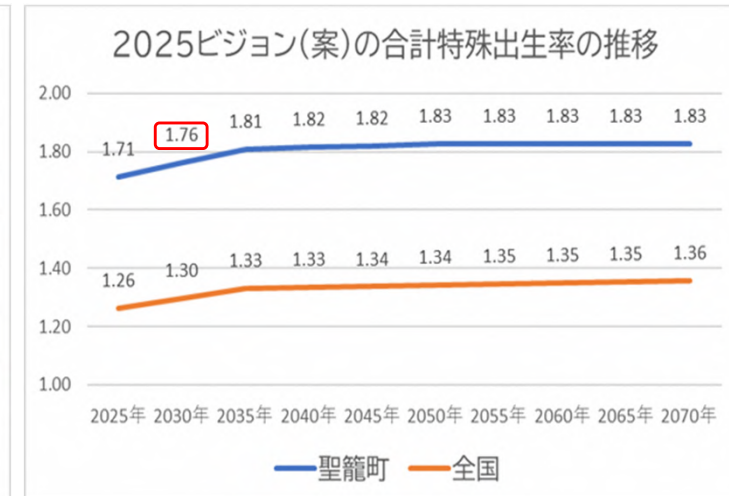
【総人口】



【自然動態・社会動態】



【合計特殊出生率】



(2) 基本目標と数値目標【基本目標1:しごとづくり】

【第2期】

基本目標1:しごとづくり
～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

町の基幹産業である農業の振興や地域の産業づくり、地域資源や観光資源を活かした交流人口の拡大、工業地帯における立地企業の設備投資による規模拡大と未操業地への企業進出を促進し、地域産業の活性化と雇用の創出を図ります。

数値目標	目標値(2024)	実績
固定資産税収	【2023決算】 31億9千万円	【2023決算】 32億2千万円

施策	①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
	②地域資源を活かした広域連携による観光振興
	③新潟東港を核とした経済振興

【第3期(案)】

基本目標1:しごとづくり
～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

町の基幹産業である農業をはじめとした地域産業の振興、地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化、新潟東港工業地帯における立地企業の設備投資や未操業地への進出促進、地域の支援機関と連携した創業促進等に取り組むことにより、地域経済の活性化を促し、雇用の創出を図ります。

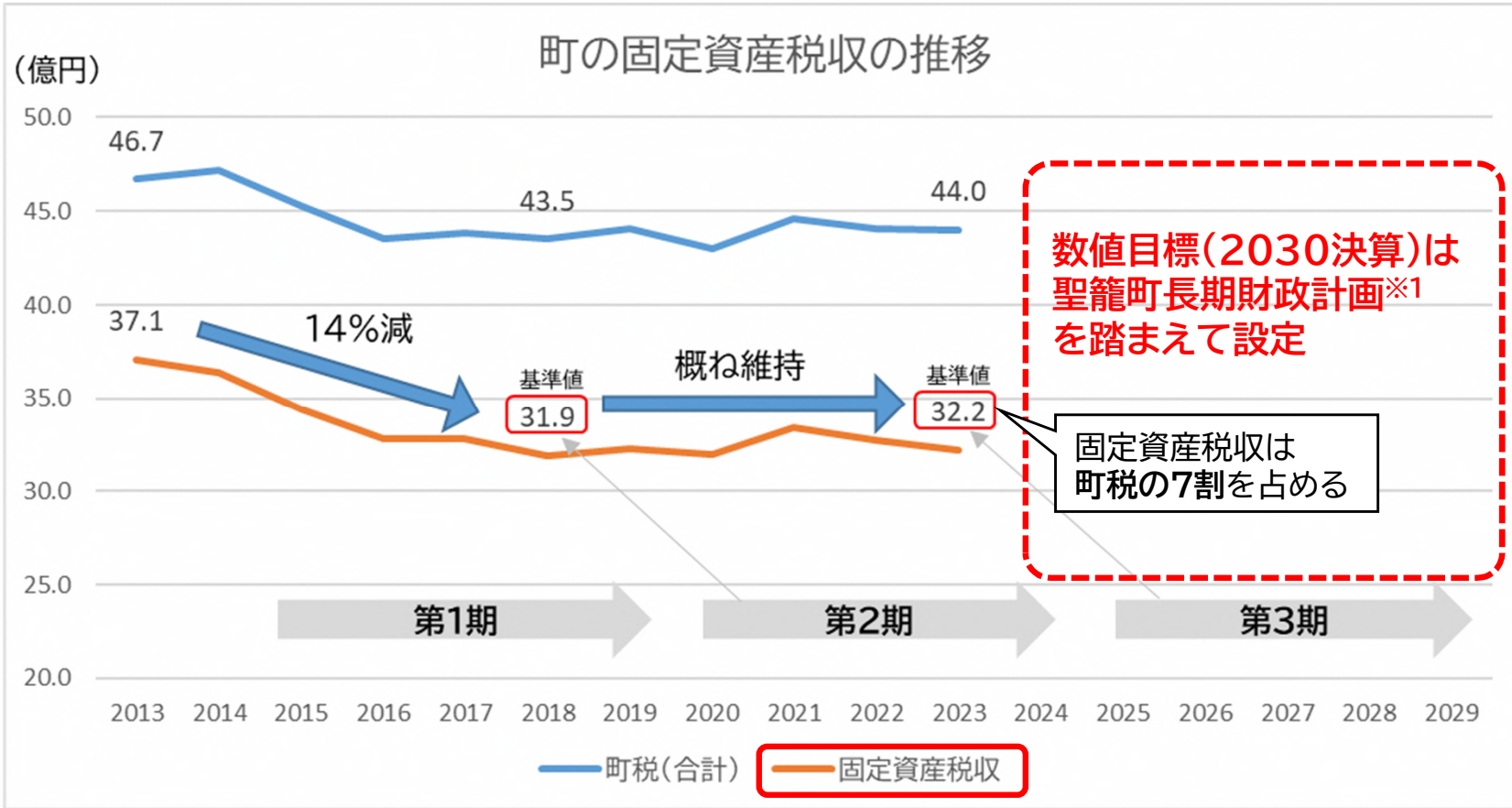
数値目標	基準値	目標値(2030)
【継続】 固定資産税収	【2023決算】 32億2千万円	【2030決算】 (検討中)

施策	①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
	②地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化
	③新潟東港を核とした経済振興
	④事業創造の促進

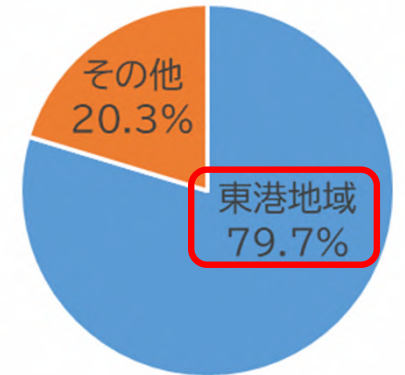
検討状況

- 数値目標は継続とする。
 - 東港振興などによる地域経済の活性化(その成果としての「固定資産税収」)が、地域産業の維持・発展において極めて重要な役割を担うものである。
 - 農業・観光振興、創業促進については個別事業のKPIにより評価する。
- アンケート結果などを踏まえて、「施策④事業創造の促進」を新たに展開

【参考】数値目標「固定資産税収」について



固定資産税収のうち東港地域の占める割合(2023年度)



出典: 聖籠町税概要

※1 聖籠町長期財政計画について

計画期間 : 2021~2030年度

概要 : 将来の財政見通しを可能な限り明らかにし、限られた財源の重点的かつ効果的な運用を図り、長期的な展望に立って、将来に責任が持てる持続可能な聖籠町の実現に向けて、健全な財政運営の指針とするもの。社会情勢の変化を踏まえて、**令和6年度中の見直しを予定**している。

検討状況

【数値目標の候補】

- ① 町内総生産(第1期の数値目標) ▶ 即時性に欠ける(結果の把握に2年要する)
- ② 町内事業所の従業者数(第1期の数値目標) ▶ 数値の安定性に欠ける(調査回収率が影響)
- ③ 農業生産額、農業所得(第2期策定時検討) ▶ 即時性、安定性ともに課題あり

即時性、安定性の観点から「固定資産税収」を採用(第2期から継続)

【参考】施策構成(案) 【基本目標1:しごとづくり】

【第2期】

施策

①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備

- ふるさと納税制度を活用した地場産品の魅力発信
- 生産者に対する「チャレンジ育成型」の取組
- 新規就農者確保対策事業
- ほ場整備を契機とした新たな営農体系構築

②地域資源を活かした広域連携による観光振興

- レジャー、スポーツを通じた地域振興
- 交流人口拡大のための広域的観光周遊ルートの整備

③新潟東港を核とした経済振興

- 新潟東港工業地帯における立地企業の規模拡大・未操業地への企業進出の促進

- Well-Beingアンケート「事業創造」が低い
- 商工会からの要望

【第3期(案)】

施策

①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備

(継続)

②地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化

(継続)

- 【新規】アルビレッジを拠点とした地域活性化の促進

③新潟東港を核とした経済振興

(継続)

④事業創造の促進

- 【新規】地域の支援機関と連携した創業促進

(2) 基本目標と数値目標 【基本目標2:結婚・出産・子育て】

【第2期】

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚したいと望む人たちが希望どおりに結婚ができ、安心して子どもを産み育てられるよう社会状況の変化に応じた出産や子育てのサポート体制を充実させるとともに、子育てと仕事が両立できる環境整備の推進、未来を創る子どもたちへの教育内容の充実を図ります。

数値目標	目標値(2024)	実績
合計特殊出生率	【2019-2024平均】 1.92	【2019-2023平均】 1.69

施策
①結婚の希望をかなえる
②安心して子育てできる家族への応援
③子育てしながら働ける環境整備
④未来を創る子どもの育成

【第3期(案)】

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての希望をかなえるために各ステップに応じて切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを生み育てられる環境の整備を推進します。

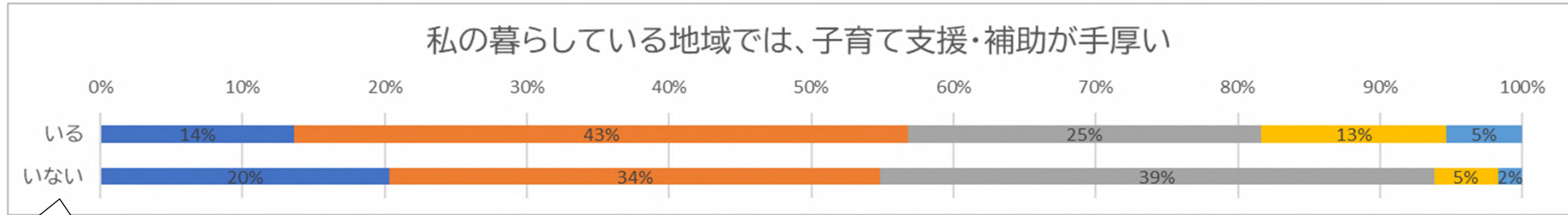
数値目標	基準値	目標値(2030)
(人口ビジョンと一体的に管理)		—
【新規】 子育てに 対する満足度	【2024アンケート】 61.0%	【2030アンケート】 65%

施策
①出会う前から結婚まで切れ目のない支援
②子育てに関する包括的な支援体制の構築
③子育て世帯の経済的負担の軽減
④仕事と子育ての両立支援

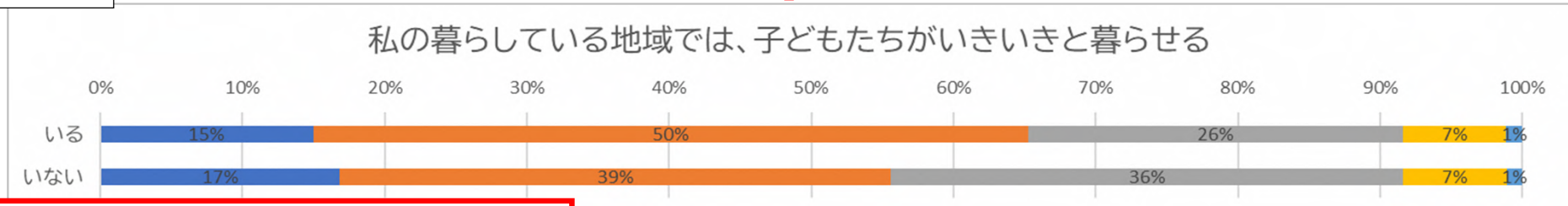
検討状況

- 総合戦略の目的(人口減少抑制・地域活性化)を踏まえ、「未来を創る子どもの育成」については戦略非掲載とする。(聖籠町学校教育振興基本計画に基づき着実に実施)
- 地域ビジョンの趣旨(町民の幸福度・満足度向上に向けた取組を着実に実施することで、人口ビジョンの達成につなげる)を踏まえ、人口動態に直結する「合計特殊出生率」は数値目標とはしない → 人口ビジョンと一体的に管理し、毎年度実績を整理
- 「子育て施策の充実」を求める町民の声を着実に施策に反映するために、「子育てに対する満足度」を数値目標とする。

【参考】数値目標「子育てに対する満足度」について

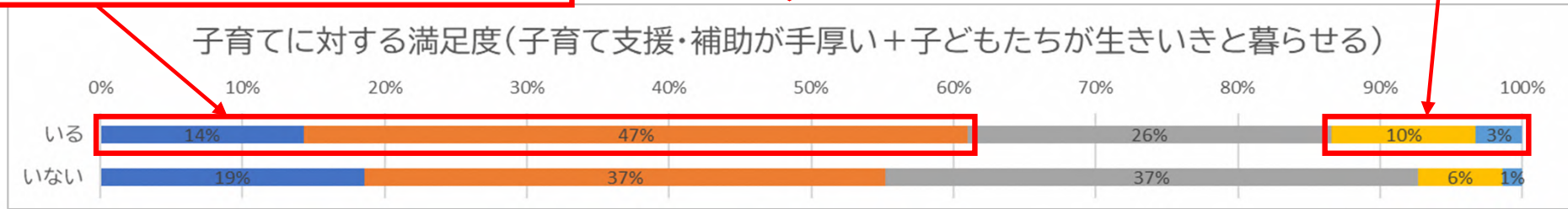


子どもの有無



基準値: 61.0% → 目標値(2030): 65%
(高い水準を維持・改善)

満足度が低い方(あてはまらない)は13%



■非常にあてはまる ■ある程度あてはまる ■どちらともいえない ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない

出典: 令和6年度居住・幸福度等に関するアンケート調査(聖籠町)

検討状況

- Well-Being指標のカテゴリー「子育て」を構成する「子育て支援・補助が手厚い」、「子どもたちがいきいきと暮らせる」に対して、「非常にあてはまる」又は「ある程度あてはまる」と回答した者の割合の平均を数値目標の基準値として採用する。
※ 第2期戦略における施策②「安心して子育てできる家族への応援」のKPI「子育てに対する満足度」とは根拠データが異なる。
(第2期KPI: 19~39歳の子どもを有する町民で「満足している」又は「まあまあ満足している」と回答した者の割合)
- 子育て世帯の声を着実に施策に反映するため、**子どものいる方の回答に限定**する。
→2024アンケートでは「子どもの有無」は、40歳未満のみの設問であったため、上記の回答者も40歳未満に限定されている。
目標設定にあたっては、**子どもの年齢(4月1日時点で18歳未満)**により、**子どもの有無を定義することとする**

【参考】施策構成(案)【基本目標2:結婚・出産・子育て】

【第2期】

施策

①結婚の希望をかなえる

- 結婚の希望をかなえるための婚活事業の推進

②安心して子育てできる家族への応援

- 健やか子育て誕生祝金・子育て支援金の支給
- 子ども家庭支援体制の充実
- 仕事と子育ての両立の応援
- 子育て支援強化のための地域交流施設「そだちの家」の活用

支援メニュー別に分解

③子育てしながら働ける環境整備

- 男女共同参画社会・女性活躍推進に向けた取組

基本目標3に掲載

④未来を創る子どもの育成

- 企画力を育むプログラミング教育の促進
- 地域への愛着を持ったグローバル人材の育成
- 子どもの興味・関心を刺激し、可能性を育む幼児教育の推進
- 子どもと向き合う時間を生み出す学校の働き方改革の推進

非掲載とする
→学校教育振興基本計画に基づき着実に実施

【第3期(案)】

施策

①出会う前から結婚まで切れ目のない支援

- 【継続】結婚の希望をかなえるためのライフデザイン・婚活支援事業の推進

②子育てに関する包括的な支援体制の構築

- 【継続】子ども家庭支援体制の充実(子ども家庭センター)
- 【継続】子育て支援強化のための地域交流施設「そだちの家」の活用
- 【新規】屋内遊び場の整備 ほか

③子育て世帯の経済的負担の軽減

- 【継続】健やか子育て誕生祝金・子育て支援金の支給
- 【新規】保育料支援、給食費支援 ほか

④仕事と子育ての両立支援

- 【継続】仕事と子育ての両立の応援(幼稚園・保育園)
- 【新規】児童クラブ、放課後子ども教室 ほか

(2) 基本目標と数値目標 【基本目標3:まちづくり】

【第2期】

基本目標3:まちづくり

～住み続けたいまちをかたちづくる～

住民の安全で安心できる暮らしを確保し、いつまでも住み続けたいと思ってもらえるまちづくりのために、超高齢社会へ対応する健康長寿への取組強化、地域交通の維持・確保、行政と地域コミュニティや住民との円滑な意思疎通を深めながら地域の防災・減災など安全の確保を図ります。

数値目標	目標値(2024)	実績
住み続けたいと思う人の割合	【2024アンケート】 70%	【2024アンケート】 58.8%
社会増減数 (外国人除く)	【2019-2023】 +69人	【2019-2023】 ▲125人

施策

- ①地域コミュニティの振興・人材育成
- ②民間活力を活用した移住・定住の促進
- ③生涯活躍のまち構想の実現に向けた取組
- ④地域公共交通手段の確保
- ⑤防災対策の推進

【第3期(案)】

基本目標3:まちづくり

～住み続けたいまちをかたちづくる～

誰もが活躍できるまちづくりの推進、地域防災体制の強化等の取組を町民との協働により推進するとともに、地域交通の維持・確保、デジタル行政サービスの導入等による暮らしの利便性の確保・向上を図り、いつまでも住み続けたいまちづくりの実現を目指します。

数値目標	基準値	目標値(2030)
住みやすいまちだと思える人の割合	【2024アンケート】 74.5%	【2030アンケート】 75%
町(集落)に愛着を持っている人の割合	【2024アンケート】 54.0%	【2030アンケート】 60%
(人口ビジョンと一体的に管理)		—

施策

- ①誰もが活躍できるまちづくりの推進
- ②暮らしの利便性の確保・向上
- ③防災体制の整備・推進
- ④民間活力を活用した移住・定住の促進

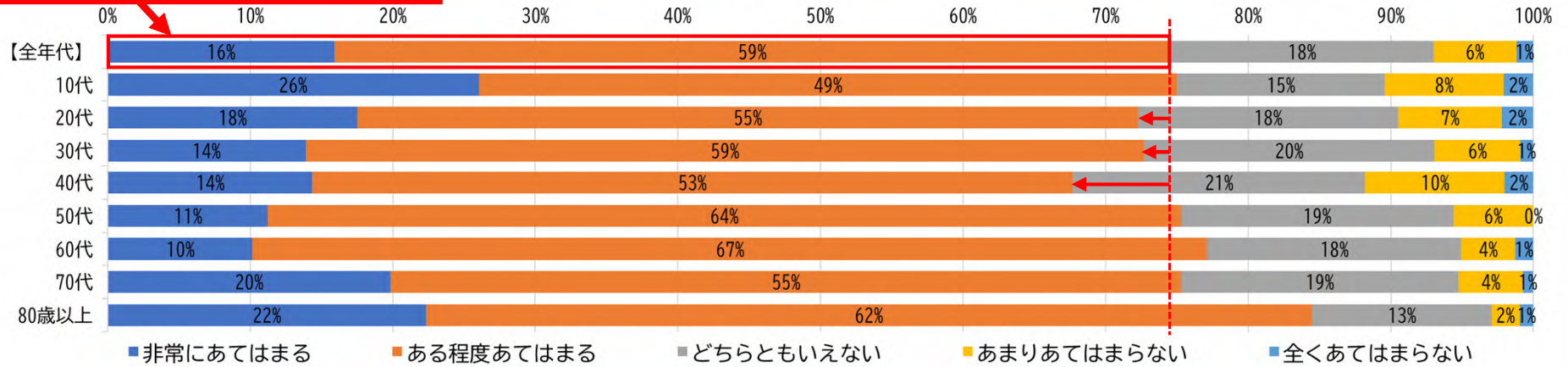
検討状況

- ・ 数値目標「住み続けたいと思う人の割合」を「住みやすさ」と「町(集落)に対する愛着」に関する指標に見直し
- ・ 地域ビジョンの趣旨(町民の幸福度・満足度向上に向けた取組を着実に実施することで、人口ビジョンの達成につなげる)を踏まえ、人口動態に直結する「社会増減数」は数値目標とはしない → 人口ビジョンと一体的に管理し、毎年度実績を整理

【参考】数値目標「住みやすいまち」・「町(集落)への愛着」について

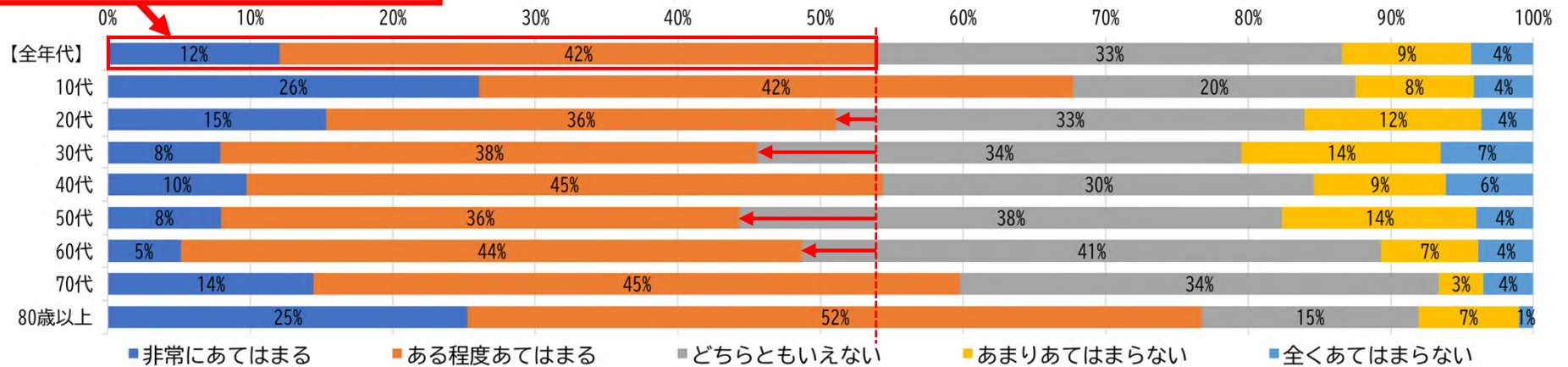
基準値: 74.5% → 目標値(2030): 75%
 (高い水準を維持・改善)

聖籠町は住みやすいまちだと思う



基準値: 54.0% → 目標値(2030): 60%
 (高い水準を維持・改善)

私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている



出典: 令和6年度居住・幸福度等に関するアンケート調査(聖籠町)

検討状況

- Well-Being指標の各指標において「非常にあてはまる」又は「ある程度あてはまる」と回答した者の割合を基準値として採用する。
- 現時点の数値は高い水準であり、総合戦略事業の実施により、維持・改善を図る。
- 年代別では、20~60代で数値の落ち込みが見られる。→ 特に現役世代をターゲットに施策を展開

【参考】施策構成(案)【基本目標3:まちづくり】

【第2期】

施策

①地域コミュニティの振興・人材育成

- ・ 集会用施設建設維持補助・地域振興支援事業の推進
- ・ まちづくり創生大学による人材育成

②民間活力を活用した移住・定住の促進

- ・ 住宅建築による定住の促進
- ・ 空き家の利活用の促進

③生涯活躍のまち構想の実現に向けた取組

- ・ 生涯活躍のまち構想の実現に向けた取組
- ・ 健康づくりポイ活事業

④地域公共交通手段の確保

- ・ 循環バスの運行
- ・ 高齢者タクシー利用料金の助成

⑤防災対策の推進

- ・ 防災行政無線のデジタル化への更新

【第3期(案)】

施策

①誰もが活躍できるまちづくりの推進

- ・ 【新規】生きがい健康づくりの推進
- ・ 【新規】ダイバーシティの推進(男女・障がいなど)

・ Well-Beingアンケート
「多様性と寛容性」低い

②暮らしの利便性の確保・向上

- ・ 【継続】循環バスの運行
- ・ 【継続】高齢者タクシー利用料金の助成
- ・ 【新規】デジタル行政サービスの導入
- ・ 【新規】SNS等を活用した情報発信力の強化

・ Well-Beingアンケート
「デジタル生活」低い
・ 特に現役世代をターゲットに

③防災体制の整備・推進

- ・ 【新規】地域防災体制の強化

④民間活力を活用した移住・定住の促進

- ・ 【継続】住宅建築による定住の促進
- ・ 【継続】空き家の利活用の促進
- ・ 【新規】東京圏からの移住・定住の促進